

会議録【全文筆記】

会議名称	令和5年度 第1回置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録	
開催日時	令和5年7月31日(月) 午後3時00分～	
開催場所	置賜広域行政事務組合消防本部 2階 講堂	
出席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	会長 野々村美宗	山形大学大学院理工学研究科
	副会長 田中明子	米沢商工会議所
	委員 遠藤央子	白布温泉 湯滝の宿 西屋
	委員 加藤里美	米沢市民生委員児童委員連合協議会
	委員 小泉玲子	米沢観光コンベンション協会
	委員 小関洋子	米沢市青少年育成市民会議
	委員 佐藤さく	米沢市婦人防火指導員連合会
	委員 清野雅好	米沢市社会福祉協議会
	委員 西川友子	山形県立米沢女子短期大学
	委員 中井 晃	山形鉄道株式会社
	委員 宮原博通	高畠町政策審議会
	委員 菅井 厚	川西町まちづくり委員会
	委員 吉田博之	白鷹町振興審議会
	委員 鈴木正人	飯豊町振興審議会
欠席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	委員 鈴木正弘	J A山形おきたま
	委員 結城秀人	南陽市観光推進会議
	委員 高橋和衛	小国町振興審議会
オブザーバー	長井市総合政策課補佐、南陽市みらい戦略課長補佐、高畠町企画財政課長、川西町まちづくり課長、小国町総務企画課長、白鷹町企画政策課長、飯豊町企画課長、置賜総合支庁総務企画部総務課連携支援主査	
事務局	米沢市長、米沢市企画調整部長、政策企画課長、政策企画課長補佐、政策企画課企画調整主査、置賜広域行政事務組合事務局次長兼総務課長、総務課長補佐兼企画財政係長、総務課企画財政係主任	
米沢市担当課	地域振興課長、環境生活課長、高齢福祉課長、観光課長補佐、農政課長、農政課米沢牛振興室長兼畜産主査	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 会長及び副会長選出 6 会長あいさつ 7 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会議等の公開について (2) 令和4年度の取組及び置賜定住自立圏共生ビジョンの改定(案)について (3) 置賜定住自立圏共生ビジョンの策定について 8 その他 9 閉会 	
会議資料	次第名簿	

資料 1 会議等の公開について（案） 資料 2 令和 4 年度の取組及び置賜定住自立圏共生ビジョンの改定（案）について 資料 3 置賜定住自立圏共生ビジョン（案） 資料 4 置賜定住自立圏 第 2 次共生ビジョンの策定について 資料 5 第 2 次共生ビジョンにおける具体的取組について 参考資料 1 置賜定住自立圏共生ビジョンにおける評価について

会議内容

【1 開会】

省略

【2 委嘱状交付】

省略

【3 市長あいさつ】

置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会委員として委嘱状を交付させていただいたところであり、置賜定住自立圏として 5 年目を迎えて、新たに来年度からの方向性を皆様と一体となって、検討・協議の上、決定していきたいと思っております。今、置賜 3 市 5 町でも人口減少が進み、持続的な地域のあり方、そして、住民福祉の向上など課題を抱えているところであります。今まで単独市町で行ってきた事業もやはり人口減少等において非常に厳しくなっており、そこは広域的にしっかりと連携を取りながら、お互いに助け合っていこうということが大きな課題になってきているところであります。今後もいろいろな面で住民が生活する上で、安全で安心して生活できる環境づくりというものが求められますので、皆様の生活向上に取り組んでまいりたいと考えております。それぞれの地域の課題であったり、また、まちづくりの方向性を合わせてお互いに協力していくということを大切にしながら取り組んでまいりたいというように思います。何卒、御意見、いろいろなお知恵をお貸しいただきまして、素晴らしい置賜定住自立圏共生ビジョンがまた確立されることを心から願いながら委嘱状交付に当たりまして、一言、日頃のお礼を兼ねまして御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【4 委員自己紹介】

省略

【5 会長及び副会長選出】

会長に野々村美宗委員、副会長に田中明子委員が選任された。

【6 会長あいさつ】

皆様改めましてこんにちは。山形大学の野々村と申します。今回、会長を務めさせていただきます。初めてでございますが、若輩者で分からないことが多くございますが、皆様から御指導いただきながらこの会を進めていきたいと思っております。この会を進めるに当たりまして、二つほどお願いを申し上げたいというように思っております。一つはこの資料を拝見し熟読させていただき、これから 5 年間の置賜地区の行政の方針を決めるのは大変重要なことだというように思いました。これから 5 年間だけではなくてその先の 10 年間、20 年間の方向性にも影響する非常に大事な会だと思っております。現在の置賜をどうやって良くするかはもちろんのこと、子どもたちの世代がより幸せになるようにするにはどうすれば良いか、そのような視点でこの会を運営させていただきたいというように思っております。もう一つお願い申し上げたいことがございます。私自身、大学に籍を置いている教員でございますけれども、行政に関しては全くの素人でございます。一市民としてこちらの会に参加をさせていただいております。実際に行政を執行するのは市であり町であるというように思いますけれども

ども、やはり、そこに実際の住民の声はものすごく大事だというように思います。まず、どのようなことでも結構ですので、御質問、御提案いただければ非常に嬉しいと思います。私自身もそのようなスタンスでこの会を進めさせていただきたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

【7 議事】

(1) 会議等の公開について

(資料1に基づき説明。)

会議録及び配布資料について公開する取扱いとして決定した。

(2) 令和4年度を取組及び置賜定住自立圏共生ビジョンの改定(案)について

(資料2、3に基づき説明。)

委員

資料3の1ページ目の定住自立圏共生ビジョンについて、定住自立圏共生ビジョンの目的は全くそのとおりで、この目的をどう実現していくかがもちろん重要だと思います。この定住自立圏共生ビジョンの目的をより具体的な取組として実現していくのに、この12~13ページの具体的な取組については何か偏りを感じます。例えば、この3市5町の広域連携を進める上で、どのように3市5町連携していくのか。それから、産業振興でも米沢牛の振興は確かに一つのブランドとしては大きいものがあるかと思いますが、やはり産業振興という上では、まだまだ農業にしましても後継者の問題や耕作放棄地にならないように農地の活用であるとか、そして、置賜の地場産品を作っていくとか、置賜全体が食の宝庫であるというポテンシャルを高めていくとか、置賜3市5町の産業振興がここにありというような取組をしていくことが必要なのではないかと思います。もちろん生活機能強化、教育もそうですけれども、もっと置賜3市5町が魅力的になっていくことに向かっていくことが必要だと思います。つまり、定住自立圏ということを考えたときに、この地域の子どもも大人もふるさとを誇りに思うというところをどこから見出せるのかということに疑問に思っています。そういったふるさとを誇りに思うことが無ければ、移住・定住・交流も展開していかないのではないかと思います。地域の子どもも大人も、その地域に誇りを持っていきいきと輝いて暮らしているというところで初めて、外からあのまちに住みたい、そして、あの仕事に就いて自分でもこういう仕事を興してみたいというようになっていくと思います。ということは今の取組の項目そのものにもっと魅力的な内容が盛り込まれていくべきだと思います。今ここに挙がっている具体的な取組として掲げられているものだけをやっても、大きな地域の魅力づくりということをベースにきちんと組み立てていかないとそれぞれが生きていかないと。そういった骨格をもう少し網羅していく必要があると思います。

事務局

御指摘にあったのは確かにおっしゃるとおりでございます。定住自立圏においては、3市5町という広域の枠組、3市5町が連携して進めていくというのが一番大きな視点であるというように思っています。定住自立圏が始まる前までは、先ほど12ページ、13ページの取組を紹介させていただきましたが、観光などを除いて実際に集まって取り組んでいくようなものはなく、そういった意味ではこの定住自立圏を始めたことによって、3市5町の連携は高まったというように強く感じておりま

す。ただ、委員もおっしゃったとおり、その魅力についてどのように進めていけば良いかという、定住自立圏では生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化、この三つの分野で取り組むことが国から求められております。そのような中で、置賜で取り組める内容がどういったものかというところを考えると第一次共生ビジョンは策定させていただきました。コロナ禍もあり思うようにいかない部分も確かにありましたが、先ほど事務局から紹介申し上げました成年後見センターはこれまでなかったもので、こういった意味では定住自立圏の成果は一定程度出ていると感じております。今後、第2次共生ビジョンの内容についても御説明いたしますが、様々な御意見もあるかと思いますが、こういった取組を連携して取り組んでいく姿勢が大事だと思っております。

会長

置賜地域でどんな魅力を引き出していくかということについて、何かございますか。私は大学に勤める者として、この置賜地域を見たときに特徴的なのは大学が3つあることはすごく大きいというように思っています。子どもたちの教育は山形に来た時からやっており、大学と教育委員会と連携させていただいて、なかなか上手くいかないのですけれども、米沢駅裏のところに新しい施設を作らせていただいたりもしました。今お話のあった米沢牛というのはものすごく魅力的なコンテンツで皆さんこれを目指して米沢にいらっしゃると思うのですけれども、それとはまたちょっと違う置賜の魅力を御提案できると思います。こちらの議題については(3)を事務局から御説明いただいた後に、議論させていただきたいと思っております。

(3) 置賜定住自立圏第2次共生ビジョンの策定について

(資料4、5に基づき説明)

委員

資料3 ⑥水道の圏域内水道の広域連携等の検討について、期待される効果として圏域内住民生活に必要な水の安定的な供給が図られるということで、資料5の中でSDGsと連携して紐づけられていて非常に分かりやすく、ビジョンを具体的にしていく中で良い資料を作っていただいたと思います。圏域内住民生活に必要な水の安定的な供給が図られるというのはSDGsの6番に該当しますが、事業内容からすると、今までは公共施設での水回りの市民に対する安定的な提供の意味合いで捉えていたのですが、実際に大事なのは日常生活に欠かせないライフラインですので、日常生活の下支えの対策が必要だと感じています。要は水道料金、公共料金のことなのですが、総務省から消費者物価指数が公表されていて、山形県は上から6位、そのうち水道光熱費に対する消費者物価指数は全国平均を100とした場合、110.4ということで全国では3番目に高いという結果が出ていたそうです。私たちが生活していると、この冬も電気代が高くなって家計的にも将来的にも非常に苦しいのですけれども、この辺に関する水道料金、公共料金の現状を把握するということが、全市民が利用するわけですから安心して暮らすためにはこの辺の検討や改定が必要ではないかと思っております。そこに関して令和元年からの事業を見る中で、広域内水道の広域連携等の検討の事業費見込は0なので、もし可能であれば盛り込んだ上で検討していただきたいです。これについて自治体の御意見をお聞きしたいと思っております。

事務局

水道料金が高くなることについては、やはり人口の密度割合や広大な

面積になることで料金が高くなるという構造的な問題があると思います。水道管を維持していくということにおいて、やはり国でも非常に大きな問題として捉えているというように聞いており、計画の中におきましても、県と連携しどういった方法でこの米沢市だけではなく3市5町全体的に水道行政を行っていくことがより安定した水道行政の経営の安定に繋がるかというところを、予算の計上はしていないのですけれども、議論していくということが県議会でも示されており、米沢市でも3市5町の中で議論を進めていくということになっております。この中でいきなり3市5町合併することはなかなか難しいですけれども、ソフト的な部分からまずは連携を図れないかといったところをすることで、より低廉な運営ができないかというところを議論しているというように聞いているところです。

会長

県との連携は水道料金が安くなる方法での検討が進んでいるのでしょうか。

事務局

安くなることについての議論が進んでいるかは把握していないのですけれども、まずはやはりこれから人口が減少していく中で水道管の維持運営が非常に難しくなってくる部分もあるというところがございます。そうしたところの安定供給というところを議論しているというように聞いているところでございます。

委員

産業振興のところでは米沢牛の振興をすごく頑張っていると思います。農業においては、後継者がいないという問題がある中で、若い人たちに呼びかけ、例えば今ある空き家を利用しながら若い人へやってみないかと声掛けすることなど、外部から人を集めることなどは考えていますか。

事務局

今いただいた御質問は産業全体という意味で捉えてお答えしたいと思います。置賜地域は若い人の流出がかなり進んでいるところです。若い人をいかに定着させるかが一番重要であると考えており、それぞれ各市町においてそのような取組を進めているところでございます。先ほどの置賜の魅力という点に繋がるとは思います。なかなか人口減少に歯止めをかける、逆に増加させるような、まさに特効薬のような大きな施策はないと考えております。こういった定住自立圏に掲載しているような様々な施策を総合的に進めていく、特に定住自立圏においては、単独の自治体だけではなく3市5町広域連携して取り組む形を取っておりますので、3市5町と連携・協力をして、人口減少しているような状況ではございますが、そういったものを一つ一つ進めていきたいと考えております。なかなか劇的にすぐに効果が現れるのは難しいというようには考えておりますが、一つずつ着実に実行していくのが一番重要というように思います。

会長

他の自治体を見ると明石市は子どもの教育を充実させることで人口増加を図っているようです。それぞれ地域の特性があるので、明石市の施策をまねれば置賜の人口が増えるかということ、そんなことはないと思いますが、置賜は何をしたら良いのかというところをやはり我々としても提案していかなければいけないと思います。私は大学なのでどうしてもそういう観点からになりますが、大学生が山形県内になかなか就職せず、多くの方は関東に出て行ってしまい、どういうことだというようなお叱りを受けるのですが、やはり働きの方はすごく大きいです。学生

が希望する働きたい場所というのはどうしても首都圏が多く、なかなか学生を引き留めることができない。一方で、上手くいっているパターンだと、私の教え子でベンチャー企業、町工場を親御さんから引き継いでそれを発展させています。若者にとって魅力的な働き場を作っていくのは大事だと思います。様々な分野の方がお集りの機会ですので御意見をお願いしたいと思います。

委員

町の委員会でも行政の産業施策等も評価している中で一番感じているのが町をどう進めていくかということが一番重要であって、この会議でも置賜をどちらに向けて進めていくか、先ほど明石市の話もありましたが、子育ての施策も生かせる問題ではないかと個人的には思います。それでこの場で置賜をどう持っていくかというのを大きく掲げていった方が良いのではないかと思います。ここの委員会でも皆さんの言っていることはすごく貴重で大切なことを言っているのですけれども、いろいろな委員会、協議会を通していく中でだんだん消えていきます。1人の少数意見でも重要なものが要望されているのがいろいろな会議でたくさんあるわけです。やはり失われても良いからこのビジョンの中で置賜全体としてどう持っていくか、皆さんで置賜をこう持っていきたいと思います。打ち出していく必要があるのではないかと思います。米沢牛もそうですが、魅力あるもののためには小さな意見も取り上げられることが大事だと思います。会長がおっしゃったとおり、魅力はあることをみんな分かっているのだけれど、どうするかが難しいものですから、大きくビジョンを掲げた方が良いのではないかと思います。ゼロカーボンについても、これに加えて過剰包装についても変えましょうということで、例えば、お菓子を食べる時、包装紙が4つも5つあってやっとなら口に運ぶというような状況など、簡単なもの、変えられるものから変えていくと良いと思います。この場でどんどん意見を言った方が良いと思います。

委員

福祉・健康事業の充実を図るのであれば、食を通してのコミュニケーションという問題が出てくるのではないかと思います。医療の方につきましても、受け身的な医療体制もありますが、逆に心身の健康、3市5町で食生活の指導、家庭の中できちんとした食を取るということをきちんとしていけば、人口に対しての医療費が少なくなり、それだけで地域の魅力が増していくと思います。健康都市という中で、観光の温泉と絡めると、例えば、10日間プログラム、1ヶ月間そこで良い食をいただいて適度な運動をして、温泉療法をして健康になるということで、この3市5町の人たちはそういう社会システムを活用しているということになると、それが地域の魅力になり人を呼び込めると思います。温泉の活用も地域資源としてあるわけですから、食と温泉と健康プログラム、そして良い食材を作っている方が3市5町にはたくさんいらっしゃるわけですから、そういうところでのホスピタリティということも大切だと思います。ですからもっと食と健康を切り口にして迫っていくだけでも置賜の魅力、そこに若い人たちが新たな産業を見出すということもできるし、食と健康という切り口をベースにすると、医療、子育て、福祉、教育、生涯学習も絡んでいきますので、そういう骨太の大きな軸を3市5町共有していくことが大切だと思います。

事務局

米沢市では健康長寿日本一を掲げまして、現在、推進プランという具

体的な計画を策定して進めております。置賜3市5町の共通した資源であると改めて感じたところです。具体的にどういった対応ができるかは今後検討したいと思います。

会長

どうもありがとうございます。この健康長寿日本一のコンセプトは非常に魅力的だと思います。様々な分野と連携していろいろなことができると思います。大学としても御協力できるかと思っております。先ほどの魅力的な置賜地域の中で一つの案として、その辺りは事務局で御検討いただければ嬉しいです。

委員

病児保育事業について、広域利用ということで3市5町というイメージで書かれているのですが、実際に子どもが病気になった時に、離れたところの町の保育所を利用するかといたらそうではなくて、住まいの近くの保育所というイメージが多いと思います。このままだと、特定の町にしかないような状況なので、今後5年間かけて全部の市町に病児保育は必ず一つありますという形にした方が、実際に定住をさせようとか若い人に住んでもらおうとした場合は、そういったところを考えていただいた方が良くはないかというように感じたところです。

事務局

病児保育につきましては、確かに米沢、長井、高島、川西にしかありませんけれども、例えば他の市町から通われている方が職場の近くの保育所を利用することが多いと聞いております。確かに各市町にその機能があれば一番良いと思いますが、現段階では難しいところがあるので、今後の課題とさせていただきたいと思います。

委員

ゼロカーボンの実現に向けての説明の中で、ペットボトルの再利用の取組がありましたが、すでにペットボトルの分別収集はしているわけですし、当然再利用されていると思うのですが、今までと違った何か新たな取組を予定されているのでしょうか。

事務局

ペットボトルにつきましてはおっしゃるとおり、すでにペットボトルの再利用というのは実施しているのですが、これからしようとしているのは、ペットボトルからペットボトルにもう一度戻すという作業でございまして、そうすることにより資源効率が格段に上がるというようなこととございます。そうしたことをすることで、CO2の削減や環境負荷に優しい対応をしていきたいと考えています。

委員

私はライオンズクラブに入っていて、ペットボトルのキャップを集める活動をしていました。山形県内にペットボトルを取り扱っている業者もいなくなり一度中断したのですが、昨年、福島の業者が持ち込みなら受けてくれるというので、長井と白鷹のライオンズクラブで共同の取組をして実際に持って行って見ました。普通に処分してくれるのかと思ったら、全然処分の方法が違いまして精製油を作製しているプラントがありました。よろしければ資料を配らせていただいても良いでしょうか。ネットで精製油と検索していただきますといろいろな企業も出てきますので、それを参考にいただければと思います。福島の業者は規模が小さいですけれども、エコキャップを熱で溶かして、ジェット機の燃料から重油まで分解できるというプラントを持っていました。エコキャップだけでなく、ペットボトルと塩ビとナイロンは駄目だそうですが、それ以外のプラスチック製品はほとんど原油に近い形に戻せるプラントが今できているのだそうです。全国でもいろんなところで取組をしています。千代田クリーンセンターを見せていただきますと、容器包装プラス

チック類の回収で大分苦勞されていますし、我々が分別したつもりでも、中でさらに使えない部分、使える部分というのを分けていらっしゃるけれども、そういったものも精製油にできるのであれば、もっと効率が良くなりますし環境負荷も減ると思います。置賜広域行政事務組合の中でもう既に検討しているという状況なのかもしれませんが、是非こういった精製油を作るというプラントについて検討していただければと思います。

事務局

こちらのビジョンにつきましては、次年度からのビジョン計画になりますので来年度から実施するものを記載しております。先ほど御説明させていただいたペットボトルの水平リサイクルは次年度からの取組として進めていきたいと考えております。この項目自体はゼロカーボンの実現に向けてというところでございますので、いただきました意見も踏まえて3市5町で何ができるか検討していきたいと思っております。

委員

参考資料14ページ産業人材確保について、雇用対策協議会や様々な関係機関と連携してというような文言が書かれていますが、事業費が419,000円ということで他に比べて少なくなっています。今後の負担金のあり方は増額等含めて検討していくとありますが、コロナ前は東京で山形の企業を対象とした合同企業説明会が毎年行われており、庄内や最上地域は各市町から担当職員が来て地域の魅力をお伝えしているのですが、置賜地域だと米沢市、川西町とか特定の市町の行政の方しかこういったところになかなか出て来られない風潮があります。こういった3市5町の共生ビジョン懇談会があるのでしたら、是非予算を確保していただき、県外の大学に進まれた若い方が米沢や置賜地域に戻ってきていただけるように努力をしていただきたいと思います。

会長

人材確保は最優先の課題だと思います。移住・交流、地域おこしなどあわせて御検討いただければと思います。他に御意見ありますか。無いようですので、本日の協議は終了とさせていただきます。

【8 その他】

委員

資料も公開して良いのでしょうか。

事務局

基本的に公開して問題ありません。

【9 閉会】